

会 議 録

会議の名称	第6回茨木市総合計画審議会
開催日時	令和元年11月22日（金） （午前・ 午後 ） 6 時30分 開会 （午前・ 午後 ） 7 時22分 閉会
開催場所	市役所南館10階 大会議室
会 長	久 隆浩
出席者	〔 委 員 〕 森本 康嗣、山田 理香 <div style="text-align: right;"><以上、市民 2人></div> 今西 幸蔵、肥塚 浩、新野 三四子、豊田 祐輔、 久 隆浩 <div style="text-align: right;"><以上、学識経験者 5人></div> 長田 佳久、木村 正文、福井 紀夫 <div style="text-align: right;"><以上、関係団体から推薦された者 3人></div> 稲葉 通宣、岩本 守、上田 嘉夫、河本 光宏、畑中 剛 <div style="text-align: right;"><以上、市議会から推薦された市議会議員 5人></div> <div style="text-align: right;">【15人】</div>
欠席者	【0人】
事務局職員	福岡市長、河井副市長、井上副市長、岡田教育長、 秋元企画財政部長、岩崎政策企画課長 <div style="text-align: right;">【6人】</div>
開催形態	公開
議題（案件）	1 開会 2 第5次茨木市総合計画 後期基本計画について答申 3 市長あいさつ 4 会長あいさつ 5 閉会

配布資料	(配布資料) 会議次第 資料1 茨木市総合計画について (答申) 資料2 第5次茨木市総合計画 後期基本計画 (案)
傍聴人	2人

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久会長	<p>1 開会</p> <p>それでは、定刻になったので、ただいまより茨木市総合計画審議会を開会する。委員の皆さまにおかれては、夕刻開催ということでお疲れのところご出席賜り、厚く御礼申し上げます。</p> <p>本日は、本年8月に市長から茨木市総合計画後期基本計画（案）の諮問を受け、審議会を開催した最終回であり、既にお伝えしているとおおり、第5次茨木市総合計画について答申をさせていただく。</p> <p>なお、第1回に決定したとおおり、会議は公開としている。</p> <p>最初に、事務局から本日の出席状況について報告願いたい。</p>
岩崎課長	<p>出席状況である。本日は委員総数15人中、現在14人にご出席いただいている。お1人は30分程度遅れる予定をしている。審議会規則第6条第2項の規定により、会議は有効に成立している。</p>
久会長	<p>定数を満たしていることを確認したので、会議をこのまま進行する。</p>
久会長	<p>2 第5次茨木市総合計画 後期基本計画についての答申</p> <p>それでは早速だが、8月7日に福岡市長から諮問を受けた「茨木市総合計画 後期基本計画（案）」について、お手元に配布している答申書の写しのおおり、福岡市長に答申したいと思う。</p> <p>【久会長から福岡市長へ答申書手渡し 答申書読み上げ】</p>
久会長	<p>3 市長あいさつ</p> <p>それでは、ただいま答申をさせていただいたので、福岡市長よりごあいさつを賜りたい。</p>
福岡市長	<p>本日は第6回の総合計画審議会ということで、お忙しい中、皆さんには再度お集まりいただいたことに感謝申し上げます。</p> <p>先ほど、久会長から受け取った茨木市総合計画 後期基本計画の答申ということで、十分にこの答申を尊重して後期基本計画の策定に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>また、先ほども言及があったとおおり、この令和2年度から5か年にかけて、ハード面では、安威川ダムの完成、市民会館跡地エリアの第1期エリアの完成等が見込まれている。また、東芝工場跡地の関係でも利用がかなり進んでいくということもあり、ハード面だけでもまだまだこのまちのありようが変わっていくという認識をしている。また、昨今は経済状況が良いこともあり、税収によって様々な施策を展開することができているが、今後また世界情勢によっては税収がなか</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久会長	<p>なか見込めないといったこともあるかと思うが、いただいた答申をしっかりと尊重した計画を、できる限り市民の皆さんのお力もお借りしながら、市として一体となって、一丸となって計画の推進に努めていきたいと考えている。</p> <p>結びになるが、熱心かつ慎重なご審議をいただいた、久会長はじめ委員の皆さまに感謝、お礼申し上げ、市を代表して市長としてのごあいさつとさせていただきます。誠にありがとうございました。</p> <p>4 会長あいさつ</p> <p>せっかく市長もご出席いただいているので、皆さま方から一言ずついただければと思う。シナリオでは私のあいさつから最初にとのことだが、私は最後にしたいと思う。</p> <p>それでは、森本委員から時計回りで順番にお願いしたいと思う。</p>
森本委員	<p>市民の立場で今回参加させていただいた。実は5年前にも参加させていただいたが、今回世の中の変化とともに総合計画を変えていくというプロセスをこういう形で体験させていただいて、非常に勉強になったと思っている。できあがったものに関してもSDGsの対応のような、市民から見ても非常にわかりやすいアイコンが付いているので、手に取って伝わりやすくなっているのではないかと思う。あと、大きなプロジェクトとしては、市民会館の跡地利用であるとか、安威川ダムというビッグプロジェクトが目白押しになっているが、今回作り上げた総合計画をベースに、より良いまちづくりに励んでいただくことを期待している。今回は非常に勉強になった。ありがとうございました。</p>
山田委員	<p>市民委員として5年前から参加させていただいている。前回は大変勉強になったが、今回も前回のものから色々時代と言うか情勢の変化から計画を変えていく大切さも勉強になった。どうしても一市民の立場からすると、大きい施策というのはイメージがわきにくく、細かい実際のイベントや取組のほうに目がいきがちだが、それを大きく指針のようなものを勉強することによって、色々な可能性も考えられるようになったと思う。どんなふうに具体的な事業になっていくのか楽しみにみさせていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
今西委員	<p>私は生涯学習および教育の領域の委員として参加させていただいた。今回、こうして案が出てきているわけだが、私もいくつかこういう案づくり、過去に他の自治体を含めて出させていただいているが、今回のプロセスはすごく良い印象を持った。それは恐らく、事務局の方々のお力がすごいと思うのだが、言葉が適切かどうかわからないが、ハンドメイドと言うか手作りの感じ、手作り感が非常にあるものだったと思った。また、会議で意見を申し上げたところ迅速に対応してい</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
肥塚委員	<p>ただき、適切な資料を選択していただいて、きちんと入れるべきことは入れるという対応をしていたことについても、本当に感謝申し上げます。</p> <p>言うまでもなく、総計というのは自治体の基本法と言っても良いような性格を持っているものなので、例えば私の領域で言うならば教育振興基本計画、あるいは、生涯学習推進計画等々の教育関係の様々な計画の根っこになるので、是非今後そういったものについて改定・改正される段においては、今回のこの総計をしっかりと踏まえてやっていかなければと思っている。特に今回非常に驚いたのは、SDGsが入ってきたことだ。私は30年近くユネスコ活動をしている人間なので、ESDとかSDGsについては結構関心が高い立場にいたのだが、その先駆性、恐らく全国のこういう計画の中でこういうのが入ったのは初めてじゃないか。私を知る限りではない。そういった意味でも先駆性が強いと感じた。</p> <p>それから、例えば障害者の問題、あるいは、働き方改革の問題、それから青少年の問題、特に学力の問題についてもきちんと意見を聞いていただいて入れ込んでいるので、本当に申し分ないと思っている。問題は、これを具体的にどう展開するかということなので、皆さん方のお力を合わせてこれを展開することによって、より発展的な茨木市をつくっていただきたいと思う。</p> <p>私は普段は大学とビジネススクールで教鞭をとっている。その関わりでこの総合計画の中で都市活力がみなぎるところで、経済の活性化に大変留意をされているし、そもそも茨木市の活力が既に十分あるわけだが、これまで以上に高まっていくというのは大変重要だと思うし、それに資するような計画になっていると思っている。</p> <p>他方で、茨木市の福祉や介護・医療のところに関わりを持たせていただいている。話題のように、社会保障制度の非常に厳しい状況が色々ところで報道されている。そういう中で、地方自治体の果たす役割も大変大きいと思っている。また同時にそれは自治体だけではなくて、そもそも市民の皆さんの取組、あるいはいわゆる地域包括ケアをどう推進していくのかということ抜きに社会保障制度、あるいは地方自治体の財政というのも成り立たないという関係になる。その点でも今回、その処理に向けてのきちんとした取組が計画として策定されていると考えており、期待申し上げたいと思う。</p>
新野委員	<p>5年前の計画の時にも参加をさせていただいた。私の専門分野は社会福祉である。今回特にかつて新しい公共という言葉が出てきた。そしてその後続いて、地域共生社会という言葉が出てきた。この度は新しい公共という言葉はもう持ち得ないということで、それに代わる言葉として「多様な主体が主役となって施策をつくり、実行をしていく」これが市と市民と事業者、団体、この人達がともに支え合い協働していく、そのことがこの事業を進めていくにあたって大事なことで</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
豊田委員	<p>あるということを強く感じさせられたし、私自身も意見を言う中でそのことを強調させていただいた。</p> <p>私は市の中の仕事としては、障害者の分野の仕事をメインにさせていただいている。この度のこの後期5か年の見直しの計画に参加させていただいたことが、障害者分野の施策を展開していく上で大変有意義なことであったと感謝している。どうもありがとうございました。</p> <p>少し個人的な話しも含むのだが、防災を専門としていて、2年前からたまたまキャンパスの国際担当もしており、留学生とか国際化とかそういったところも担当している。所属学部は政策科学部というところで、まさにこういった総合計画などに関わるというところで、今までやってきたことが色々な形で繋がってこちらに参加させていただいたと思っている。職場も茨木市だが、茨木市民でもあり、今日の朝も市民として市役所にお伺いして、夜はこういう形でまた市役所に来るという形ですごく身近な課題でもありつつ、自分の研究テーマともすごく密接に関連しているようなところに、このように色々意見を言わせていただいですごく光栄に思っている。他の委員の方や市長が言われたことと重なってはいるのだが、やはり一体となってやっていくということが重要だと思っている。審議会で1回だけ少し言ったのだが、市役所の前の公園でお祭りやイベントが頻繁に行われているというところと言うと、茨木市というのはそういった活性化に向けた潜在力というのは、すごくあるのだろうと感じている。それと、去年の地震や台風被害、そういった課題もたくさんある。そのあたりにどのようにして取り組んでいくのかについては、当然ながら計画とかそういったものも重要であるし、お互い依存ではなくて補いあえるような、主体が協力しあってシナジー効果を生むように一致団結して進めていくことが重要ではないかと思っている。それは市役所内もそうであるし、市民とか事業者とかそういったものも含めて、是非茨木市の潜在力を十分に活用しながら、こちらの計画も参考にしていきながら、今後進めていっていただきたいと思っている。大学関係者としてもそうであるし、一市民としても切に期待している。今回はありがとうございました。</p>
上田委員	<p>冒頭に少し遅れて、大変申し訳ない。私は、前回は参加していないが、議員の立場でずっと関わらせていただいた。茨木だけではなく、全国どこでもそうであるが、少子高齢化の大きな流れの中でその度々にその時代に則したことを絶えず改善していかなければいけない。そして、市民の皆さんが本当にこのまちを誇れるまちになれるのかどうかというような視点で、絶えず問答を考えさせていただいているのだが、特にこの茨木のまちは他市に比べて大きなまちの変動があるかと思う。と言うのは、山の開発なり、まちの再開発とか色々なことが、大きなプロジェクトが今も続いている。そういった中で、この総合計画の非常に基本的</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
河本委員	<p>な考え方の中で関わらせていただいて、私達のまちがこの計画の中で市民の皆さんに喜んでもらえるような、そういう計画になったのではないかと思いつつ、時代の流れを感じながら、今後これを的確に捉えて前に進めていただければと考えている。どうぞよろしく願います。</p> <p>まず第5次総合計画、これは第4次までと大きく変わった点が、途中で見直しをするという仕組みが入ったということであるし、実施計画は毎年見直しをしていただいている。この基本計画は5年の中間見直しということにあたり、この社会の大きな動き、そうしたものも取り入れていただいたということは、非常に意義があるものと思っている。特にSDGs、そしてまたソサエティ5.0、こういったものも視野に入れながらこの計画を見直されたということは、意義あると思っている。特に個人的には「Think Globally, Act Locally」という言葉が好きなのだが、今はグローバル社会にあって非常に大きな視野に立って、なおかつ着実に足場をしっかりと固めていくことが大事だと思っている。そういった面では、今回作られている第5次総合計画が初期の計画、そして途中で見直されて、10年後がより着実に計画が実行されるということを非常に期待しているところである。そうした期待を込めて、一言申し上げさせていただいた。</p>
稲葉委員	<p>私は今回初めてこの審議会に参加をさせていただいた。本当に各委員の皆さま、また専門性を持った皆さまのご意見を聞きながら、私自身も非常に勉強になったと思うし、またできあがってきた後期計画についても、市民の皆さんがご覧いただいても非常に見やすいものになっているのではないかと思う。また読んでいただいて、茨木の持っているポテンシャルがしっかりと市民の方々にも伝わるのではないかと思っている。今現在、各委員、また専門の皆さまのベストをここに書いていただいたと思っているが、他の委員からも言及があったように時代の流れが非常に急なので、またどういう技術の発展や、また社会情勢の変化があるかもわからない。是非これも弾力的にしっかりとこの計画に従いながら対応し、進めていければと思う。ありがとうございます。</p>
岩本委員	<p>今回市民の皆さま、学識経験者の皆さま、各団体の皆さま、議会、色々な方から色々なお話を聞かせていただき、大変勉強になった。ありがとうございます。ただ、私自身はこの5年に1回の見直しということで、それを5回の審議会でするとするのは、非常に時間的にタイトな感じで、これが十分に本当に皆さんの思いを反映されているのか非常に不安である。私自身もいくつか意見を述べさせていただいたが、例えて言うなら大きな湖、琵琶湖に1滴の水滴を垂らす程度のものであったかなと。それがどのような化学反応を起こすかわからない。こちらの答申で8ページですか、定住意向について、前は現在の場所に住み続けた</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
畑中委員	<p>いという方が68%、今回は75.9%と数値が上がっているというトレンドと言うか、傾向があるが、5年後に同じ調査をした時に70何%になるかわからないが、下がっているようなことがあれば非常に責任が重いと思う。5年に1回こういう形で非常に大事な会議に参加させていただいて、これで終わりではなく、私達も議会で常々色々な意見を述べさせていただくが、これからも「昔は良かった」と、そして「未来はもっと良かった」と言っていただけのようなまちづくりに、これからも取り組んでいきたいと思う。以上である。</p> <p>今回この答申案作成の中で行うパブリックコメントで示された市民の皆さんの意見や願いを、市として最大限尊重していただいて、今後の市政運営にいかしていただけるよう望み、言葉とする。ありがとうございました。</p>
木村委員	<p>前回は参加させていただいて、前回の時からかなり時間をかけて作ったと思っている。今回も最初から手法としては、第2回目からだが、意見を聞いてコメントを出してというやり方でされたことは、スムーズで良かったと思っている。ただ、総合計画はあくまでも計画で、この中は素晴らしいことばかりである。これをどうやって実現していくのかというので、この中には市の職員の人材育成基本方針とか色々書かれているが、実際市民と市の職員、それから関係団体、全員がこの計画に基づいて茨木のまちを良くしていきたいと思う。我々も微力ながら会議所の中で具体的に行うことについては協力していきたいと思うので、どうぞよろしく願います。以上である。</p>
長田委員	<p>茨木市自治会連合会から参加させていただいている。まずもって、久会長ありがとうございました。そして委員の皆さま大変お世話になった。ありがとうございました。せっかくの機会なので、一言思いを述べさせていただきたいと思っている。委員に選出していただき、こうして総合計画を市民に参加・参画させていただき、本当にありがとうございました。各種の責任感を強く受け止めている一人である。審議およびその結果の答申に関する重責である。今一つは地域活動に取り組む一人として、これから実践いたすべく責務である。物事を進めるにあたり、過程を大切にしたいと考えている。進捗状況を把握し、良い結果が得られるよう、目的・目標が必達できるよう、進捗管理を重視してまいりたいと思っている。総合計画の進捗会議の設営を提案させていただいた。早速ご検討いただけるというお話であった。市民との共有が図れるよう、実現できるよう、一緒になって進めさせていただきたいと思っている。さらに厳しい財政状況のもとであるが、高齢化社会にありまして障害者を含む健康で長寿であり続ける、そういったことに関して、さらには少子化によって将来を担う子ども達の健全育成である。災害にあたっては、茨木市を強靱で安全なまちづくりに関して、そういったこと</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福井副会長	<p>を今後さらに力を入れて取り組む必要があるのではないかと感じた次第である。多様な内容であったが、地域活動に取り組む一人としてそんな思いである。</p> <p>さらに最後になり恐縮であるが、事務局の皆さんには大変お世話になった。ご苦労さまである。引き続きどうぞよろしく願います。ありがとうございました。</p> <p>もう既に多くの皆さんから感想なりご意見が出そろったので、あえて私のほうから申し上げることはないが、ただ一つ、この副会長という重責を果たせたかどうかということは今考えているところである。久会長の足元にも及ばないこの6回の審議会であった。今回の審議会委員の皆さんは、茨木市における各種団体の代表の皆さん、そしてまた専門的な知識を持っていただいている方々、そして市議会から参加もしてくださっている。まさに茨木市の総力をあげた一つの会議ではないか。そして、さらに市民の意見も聞くためにパブリックコメントも開催されたし、市民の総意でこの答申ができあがったと理解している。従いまして、これから事業の立案・実施にあたっては、市民の人達の期待を裏切らないように、市議会の皆さんとともに頑張っ進めていただければというように思うのでよろしく願いたいと思う。ありがとうございました。</p>
久会長	<p>それでは、最後に私のほうからあいさつを兼ねてお話しをさせていただきたいと思う。</p> <p>本当にこの6回、皆さま方のお力を借りてこの総合計画審議会を進めることができ、今日の答申ができたことをまず重ねてお礼申し上げます。どうもありがとうございます。</p> <p>この総合計画であるが、実は私は様々な市町村で総合計画のお手伝いをしており、一つの作り方のモデルとして茨木市は注目をされている。本当に他市の方々がわざわざ視察にお伺いするほど注目をされている。それは内容以上に策定過程、進め方が非常に上手いということで注目をされているところだ。具体的には市民参画・協働でこの総合計画を作っていくというやり方がとても上手いということで注目をされている。森本委員、山田委員も未来プロジェクトの時からずっと一緒に作り、そして育てていただいているということであるし、今日はお顔が見えないが、その未来プロジェクトの参画をしていただいた皆さんもそれぞれ色々な形で茨木市を良くするために活動を繰り返していただいている。こういうところが他市でも注目をすべきと見られている。</p> <p>今回は基本計画の部分だが、いわゆるマイナーチェンジということで、そんなにしっかりと前回に比べて動かしてはこなかったが、また5年後、今度は基本構想の見直しが入ってくるので、その節にはまた市民参画をしっかりとやっていただいて、動かしていただけたらと思っている。</p> <p>実は私自身、様々なところで協働のまちづくりを進めており、茨木はある意味</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>非常に協働をやりやすいまちではないかと思っている。それは、市役所が呼びかける前に、もう実際に動いてくださっている市民の方々がとてもたくさんおられるということだと思う。地域活動が自治会、それから社会福祉協議会を中心に伝統ある市民側の活動が続いているし、それから事業者がまちづくり的観点で動いてくださるといふ観点も、茨木は非常に心強いものがある。事業を自らやるのはどこでも事業所はやるのだが、まちづくりという観点で事業者が動いてくださるまちというのは、まだまだそんなにないわけだが、茨木市はそれがきちんと伝統的にできていると思う。今回も商工会議所を代表して木村委員に参画をいただいているが、木村委員が事務局長であられた頃からずっと長年事業者がまちづくりに関わっていくことを、商工会議所としてもサポートしてくださっているので、そういう伝統のもとに動いていると思っている。それから近年は、20代・30代・40代のいわゆる若手の市民の方々が非常に先進的な試みをされているということも茨木は非常に注目をされている。例えばアートの分野では、茨木市を中心としたまちづくりを自ら展開していただいているし、そのお力を借りながら今回JR総持寺駅ができた時に、色々アートの展示なんかもしていただいているし、そういう若い方々の力も非常に強くなってきている。そのお力を借りながら、今回市民会館の跡地活用の際にまた新しく「いばラボ」という社会実験を繰り返すことをさせていただいているが、これも長年の市民側の活動の蓄積があるからこそものではないかと思うし、そういう方々との協働を、こういう計画づくりの時にも上手く市役所が連携をしていただいているのではないかと思っている。さらに言えば、実は団体どうしの繋がりという意味では、社会福祉協議会と商工会議所が常に情報交換をされているということも非常に珍しいと思う。社会福祉協議会は社会福祉協議会で頑張ってもらって、商工会議所は商工会議所で頑張ってもらって、全国どこでもあるのだが、この2つの団体が常に情報交換をする、具体的には事務局長同士がそれぞれの理事会等に顔を出して意見を述べ合う機会を作っていただいているとか、そういうことが実際に日々の活動の中でも、福祉活動に事業者が色々意見していただいているということも、全国的に非常に注目をされているところだ。こういう皆で育てていくというのが茨木の伝統ではないのかなと思うので、またこの基本計画でも一緒に実現していく、育てるといふ観点を常に持ち続けながら進めていければと思う。</p> <p>最後に、先ほどもちらっと言ったが、次は基本構想を見直していくという段階になる。これはかなり時間をかけてしっかりとやっていかないといけないと思っており、市民参画から始めると恐らく3年はかかるだろうと思う。そう考えると、事務局の方は休む暇もなく、すぐに今度は次の基本構想の見直しのプログラム作りを始めていただければと思っているし、私は次の基本構想はかなり色々考えていくことがあると思っている。それは時代の変化だけではなく、全ての計画の関係の中で総合計画をどう位置付けていくかということをもっともっとしっかり</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>りとやっていく必要があると思っている。具体的には今、尼崎市で基本構想を見直しているのだが、分野ごとのマスタープランがある。例えば福祉の分野では地域福祉計画があるし、環境分野では環境基本計画がある。こういう様々な分野のマスタープランがあり、そしてそれを支えていく役割として総合計画というのがあるが、この関係をもう一度茨木市では見直しつつ、連携をより密に図っていくためにはどうすれば良いかということチャレンジし始めた。しかし、なかなかこのあたりが難しいというのが正直なところだ。先ほど山田委員から市民としては日々の暮らしの中で非常に色々なことが気になるけれども、こういう話の中でそれをどう位置付けるかという話があったが、実は総合計画の前に分野別のマスタープランでも様々な大きな方針を作っており、その上に乗っかって総合計画があるのだが、正直に言わせていただくと、私の経験で言うと、その言葉遣い、あるいは向いている方向が連動しているのかどうかと言うと必ずしもそうっていない。総合計画向けの文章と分野別マスタープラン向けの文章があるという分野もある。そのあたりはどうするのか。さらには審議会もそれぞれの担当の分野の審議会があるわけである。その審議会どうしの連携というのが本来必要だけど、なかなかそういう機会を作ることはそう簡単ではないということで、計画の体系化と同時に審議会の体系化であったり、様々なものの体系化をしていかないといけない。それが上手くできないからこそ、いわゆる縦割りになっているのだが、すごい大手術になるかもしれない。それが見事にできあがった暁には、いわゆる分野ごとに横串されるということになるので、これを考えていくためには相当色々考えていかないといけないと思っているところなので、また私もお協力できる場所があるようであればご協力させていただき、尼崎市が先行してそういうことをやっているの、そのあたりのご紹介も含めて、より効率的にお手伝いができるのではないかと思います。</p> <p>それともう一つ、進捗管理であるが、最後、長田委員からしっかりと進捗管理の話の念押しをしていただいたが、前からも申し上げているかもしれないが、色々な審議会がございまして、先ほどの分野別マスタープランで言うと、それぞれの分野ごとの審議会が自ら作った計画を進捗管理する。ところが、総合計画審議会だけが、作る審議会になる。その進捗管理は、我々は担わないということになるのだが、今後作った側も一緒に進捗管理をするというような、そういう仕組みも是非とも取り入れられないかと思っているところだ。このあたりも我々も責任を持って一緒に進捗管理をさせていただき仕組みをより充実させていただければ有難いと思っている。これも豊中や尼崎では先行的にやっており、豊中は今年から本格的に総合計画審議会が1年ごとに進捗管理をするということになったのだが、これはこれでまた考えないといけないことがある。と言っているのは、分野別マスタープランも進捗管理をしている。総合計画の進捗管理と分野別マスタープランの進捗管理は同じことをやってもダメなので、じゃあ総合計画審議会はどうい</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
福岡市長	<p>うレベル、どういう内容を進捗管理するのかということ、かなり大きな視点で見えていこうじゃないかという役割分担を考えてやっているところだ。これも口で言うほど簡単ではないことだが、是非とも私も含めてずっと一緒に進捗管理をするという仕組みを作らせていただくと、より我々も責任を持つことができるのではないかと期待をしているところである。</p> <p>今日は5名の市議会議員の先生方が来られているが、豊中でも問題になったのが市議会としてもこの計画の進捗管理を毎年やっているわけである。ではその市議会の計画の進捗管理と審議会としての進捗管理をどのように棲み分けするのかということも、豊中ではしっかりと検討させていただいて役割分担させていただいたところだ。</p> <p>様々申し上げたが、こういう総合計画、非常に大きな柱づくりをすることを通じて、市役所内の仕事の仕方、あるいはその評価の仕方の体系化を是非とも図っていただければよりわかりやすいものになっていくのではないかと期待しているところである。時間はかかるが、私どもも一緒に悩ませていただければと思う。</p> <p>それでは、私のほうからのお話しはこれで終了したい。</p> <p>では、皆さま方のお言葉をいただいたので、もう一度福岡市長からも一言いただければと思うので、よろしく願います。</p> <p>改めてになるが、5年前の計画を作る時に参画いただいた皆さんもお越しなので、僕が今市長として3年半ということ、その前から携わっていただいているということになろうかと思う。僕自身も市長に就任した時、この総合計画を見た時にかなりの市民の皆さんと一緒に携わって作られたものだというので、市長としても十分に尊重してまちづくりをやっていこうというふうに臨んできた。でするので、今回の後期基本計画も大幅に見直すというよりも、時代の変化等を付け加えていく、修正を加えていくという点で臨ませていただいた。それを受けて皆さんにご議論いただいたということであるが、やはりそうは言うものの、時代の変化が厳しいということもあり、皆さんにこれから5年間の計画は作っていただいたというふうに理解はしているが、改めて皆さんのお話しを聞きつつ、市長としては残りあと数ヶ月任期なのだが、いずれにしても5年後だけではなくて10年後、20年後も見据えて、少しでも未来を予想しながらそこから逆算をしたまちづくりというものに取り組んでいこうと改めて思ったところである。いずれにしても、皆さんからたくさんのお言葉を頂戴した。多様な主体がということは、一つ大きなキーワードとして頂戴したと思っている。引き続きまちづくりにおいては、市長が要らないようなまちづくり、市長がいなくても大丈夫だと言われるぐらいの茨木市でありたいと思っているし、そうなるようにたくさんの方の声に耳を傾けながら、しっかり計画の推進に取り組んでいきたいと思っている。いずれにしても、たくさんのお声を頂戴した。皆さんの熱い思いが詰まった後期基本計</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久会長	<p>画だと思っている。久会長はじめ皆さまに感謝申し上げたいと思う。ありがとうございました。</p> <p>どうもありがとうございました。市長は、市長が要らないというお話をされたが、私は市長は是非とも必要だと思っており、ただ市長が何でもやっていく時代ではなくて、やはり市民・事業者の皆さんがまず自分達の活動を繰り返してまちづくりが進められていく、そういう仕組み作り、支援をやっていただけるような、そういう時代にきたのかなと思っているところである。</p> <p>もう一言。尼崎市の市長はとてもユニークな方なので、この前の基本構想を作る時に「私の挨拶は一枚もので挿し込んでおいてください。」とおっしゃった。それは何故かと言うと、「この10年、私がずっと市長でいつづけることは保証できないので、市長が変われば市長の挨拶だけを差し替えられるように、挿し込みで一枚入れておいてください。」というような、そんな尼崎の計画である。そういう意味では総合計画、特に基本構想部分というのは、10年間市民と一緒に作っていくということであれば、誰の計画かということ言えば、尼崎の市長のように市長が変わってもずっと持ち続けられるような、そういう体裁というのも実は非常に重要なのではないかと思っている。市長の立場からすると、この基本構想に基づいて仕事をする時に、挨拶は自分のものではないというのは私個人的にもいかなものかと思うので、そういう体裁の作り方自体も何かユニークな作り方はできないだろうかと思った次第だ。様々な立場も含めてご意見を申し上げたので、市長におかれては市政運営に十分に反映をしていただければと思う。</p> <p>それでは、以上で予定していたプログラムは全部終了させていただきたいと思うが、いかがか、何か委員の方々から言い忘れたこととはあるか。よろしいか。</p> <p>それでは、最後に事務局から連絡事項があればお願いします。</p>
岩崎課長	<p>最後に事務局の連絡事項である。</p> <p>当審議会を本日をもって終了となる。今後の予定としては、前回ご審議いただいたパブリックコメント結果について、今月中には公表したいと考えている。また今回と前回の会議録についても、できあがり次第公表する。計画策定の時期であるが、庁内の意思決定やレイアウトの調整、印刷等の期間を踏まえると、来年1月頃に完成する予定としている。完成次第、委員の皆さまにお送りさせていただくのでよろしくをお願いします。</p> <p>最後になったが、久会長はじめ委員の皆さま、これまで6回にわたって、大変お忙しい中にもかかわらず、当審議会にご出席いただき様々なご意見をいただき、誠にありがとうございました。今後とも市政各般にわたり格別のご高配を賜りますようお願いする。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
久会長	<p>それでは、これで全体の総合計画審議会を締めさせていただきたいと思う。全6回にわたり、委員の皆さま、審議会の運営にご協力いただき、本当にありがとうございました。</p> <p>5 閉会</p>